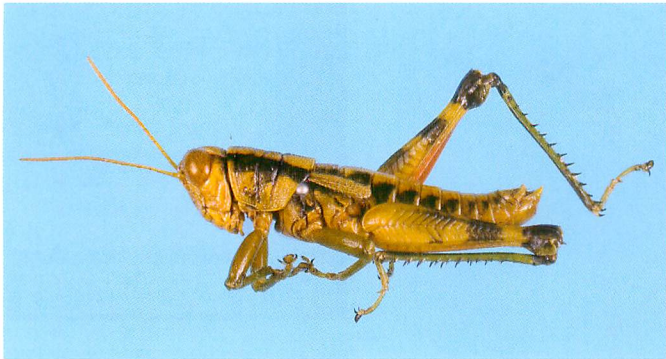




Title	[和名] クガニフキバツタ [学名] Sinopodisma aurata Ito, 1999
Author(s)	伊藤, 元
Citation	琉球大学資料館（風樹館）収蔵資料目録 第1号：琉球大学資料館（風樹館）収蔵タイプ標本目録(1): 13
Issue Date	2009-03-31
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/12652
Rights	

クガニフキバッタ (ヤエヤマフキバッタ)

Sinopodisma aurata Ito, 1999

Paratype (RUMF-ZI-15988)

原記載 : Ito, G., 1999. Descriptions of three new species of Podisminae (Orthoptera : Acrididae) from the Ryukyu Archipelago, southern Japan. Entomol. Sci., 1999, 2(4): 503-510.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15987	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱継雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15988	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱継雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15989	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱継雄	♀	乾燥
RUMF-ZI-15990	Paratype	日本沖縄県石垣島バナナ岳	1997/11/26	伊藤元	♀	乾燥

1990年代初頭には、琉球列島に未記載のフキバッタが3種いることがすでに知られており、フキバッタ類の分類学的研究を始めたばかりの筆者は、これらの種を記載する機会に恵まれた。しかし標本が手元にあまりなかったため、現地では採集するとともに、琉球大学農学部や大阪市立自然史博物館の標本庫を漁ったり、沖縄で直翅類の研究をされている小濱継雄さんからお借りしたりして、ある程度の個体数を集めることができた。

本種はホロタイプ (1♂)、パラタイプ (8♂4♀) が北海道大学農学部にも、またパラタイプが琉球大学資料館、大阪市立自然史博物館 (2♂1♀) に保管されている。種小名の *aurata* は、和名とともに、本種が生時は鮮やかな黄金色をしていることに由来する。石垣島で採集した際には、光を浴びて輝く姿に感動したものである。

本種が属する *Sinopodisma* 属は、中国、台湾、八重山諸島、奄美諸島、トカラ列島に分布するが、沖縄本島やその周辺には分布していない。なぜ沖縄本島が空白地帯になっているのだろうか。また、本種がどの地域の種と最も近縁であるかなど、生物地理学的に興味深い材料である。

(伊藤 元)